公共下水道の整備計画を見直します

問 上下水道課 ☎84-0319

町の汚水処理方法として、公共下水道の整備計画が作成されていますが、近年の人口減少などの社会情勢を背景に、平成42年を目標年次とした酒匂川流域下水道全体計画の見直しが行われています。これに伴い開成町でも見直しをし、整備地区の縮小をするものです。

今回の見直しは、未整備地区（市街化調整区域）内の農地でしばらく利用がされていない土地が対象になります。

この地区は分家住宅以外には住宅を建てる許可が得られないため、すぐには土地利用ができません。そのため、町では公共下水道整備ではなく、合併浄化槽による処理が有効的と判断し公共下水道計画から除くものです。

見直し後の整備計画は、全体計画面積が424・8㌶から381㌶へ43・8㌶の削減がされ、整備地区の縮小に伴い、効率性・迅速性・経済性の向上を促進していきます。

現在公共下水道の整備としては市街化区域内を優先的に実施しておりますが、今後は町北部及び南部の市街化調整区域の整備も順次行っていく予定です。また、都市計画や大きな土地利用の変更が生じた場合は、それに合わせた見直しを行っていきます。

＊酒匂川流域下水道全体計画

3市7町（秦野市・小田原市・南足柄市・松田町・大井町・二宮町・中井町・山北町・開成町・箱根町）にて酒匂川の水質保全と地域の生活環境の改善を図るため、下水道による処理区域や人口・汚水量を将来に向け予測をして事業計画を神奈川県が策定したもの。

＊市街化区域

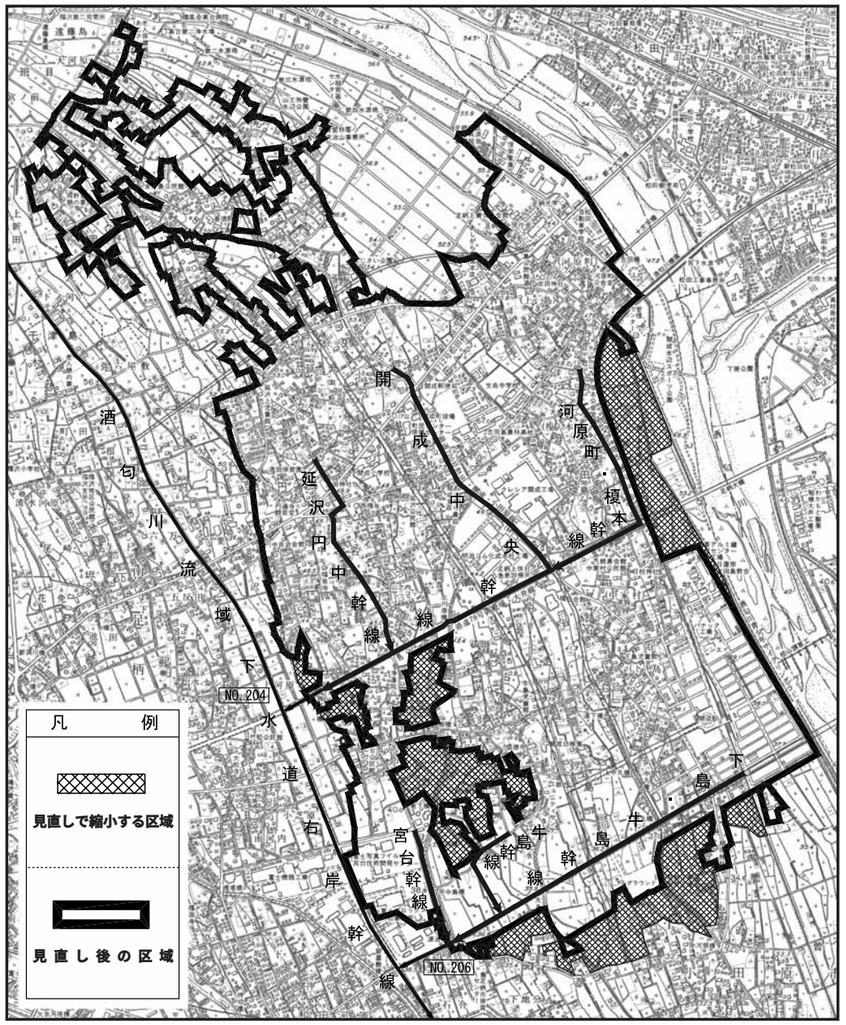
都市計画法に基づき指定されたすでに市街地を形成している区域および、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域

＊市街化調整区域

都市計画で定められた区域区分のひとつで市街化を抑制すべき区域

	全体計画面積	削除面積
H17まで	496・60ha	
H17見直し	424・80ha	71・80ha
今回	381・00ha	43・80ha

整備計画見直し状況図



子育てワンポイント ㊽

Q 外に出かけると我慢ができないことが多くて困ってしまいます。

A 何を言っても「イヤイヤ。」の連続で、泣いたりわめいたりされるとお母さんも疲れきってしまいますね。公共の場や他人に迷惑をかけてしまうことについては、その都度お子さんに教えていきたいことですが、お母さんも譲る気持ちを持ちましょう。

たとえば「おもちゃがほしい。」と売り場から離れない時はどうしていますか？「ダメなものはダメ！」と頭ごなしに伝えることはしていませんか？何もかも思いが通らないと子どもも息苦しくなってしまいます。そんな時には「誕生日になったら買おうね。」と話をすれば指折り数えて、約束の日まで楽しみに待つことができるでしょう。また「今日はあのおもちゃは買えないけれど、かわりに公園でいっぱい遊ぼうね。」などと言ってもらえたら、我慢することもできるかもしれません。まずは子どもが我慢しやすい環境を作ってあげましょう。欲求を先延ばしにしたり、別の物で我慢ができるか話をしてみる。あるいは自分の思いを大好きなお母さんに、共感してもらえることで満足できる場合もあります。

このようなことを積み重ねていくと、やがて自分自身の気持ちをコントロールできるようになっていきます。お母さんも大きな気持ちで見守りましょう。

問 開成幼稚園 ☎82-4247
のびのび子育てルーム ☎83-4198

生き生きしポート 子どもたちは今 ⑭
「中学三年生、進路選択のとき」

文命中学校　諸星教諭

文命中学校に赴任して四年目を迎えました。現在は三年生の担任をしています。体育祭や文化祭はとても盛り上がりました。クラス全員で円陣を組んで団結を誓う姿や、体育館のステージで清々と合唱する姿に心を動かされました。また、修学旅行で訪れた広島では、語り部さんの話や平和記念資料館での見学から平和について考え、京都では日本の文化に触れて、楽しい思い出をつくってきました。

そのような行事を経て十月を迎えると、いよいよ進路一色になります。実は、進路学習は一年次から取り組んでいます。自分自身について理解を深めたり、働くことについて考えたり、高等学校や入学選抜のシステムを勉強したり。職場体験もその一環です。

「何が好きで、何が得意なのか。」「将来は、どのような職業に就きたいのか。」「高校を卒業したらどのような道に進むのか。」「公立高校と私立高校のどちらを希望するのか。」「家の人はどのような意見なのか。」確認しながら話を進めていきます。

「小さいころから犬を飼っていて本当に動物が好き。だから、できれば高校から動物に関しての勉強がしたい。夏休みにそういった勉強ができる高校の説明会に参加してきた。でも、まだ親の了解が…」というように自分の将来を思い描く生徒がいます。一方で、「自分には得意な物がない。高校で何をやりたいのかも全然分からない。学力的には…」という生徒もいます。それを聞いたある先生は「今、自分がやらなければならないことに一生懸命になっていない。それじゃぁ、将来やりたいことは見つかるはずがない。」と、その生徒に助言してくれました。別の生徒は、「高校では、小学校から続けてきた大好きなサッカーを続けたい。そして、勉強も頑張って文武両道を目指したい。」と話しています。

大事だと感じているからこそ、迷ったり悩んだりするのだと思います。一人ひとりが周囲の人の力を借りて、最終的には自分自身で進路を選択していって欲しいと思います。そして、その目標の達成に向かって自分自身を磨いていって欲しいと思います。

三月には、様々な出来事を思い出しながら、感動的な卒業式を迎えられたらと願っています。